

中満泉さん（軍縮問題上級代表）の安保理発言

<https://reliefweb.int/report/ukraine/briefing-security-council-threats-international-peace-and-security-statement-ms-izumi-nakamitsu-high-representative-disarmament-affairs-8-february-2023>

<https://media.un.org/en/asset/k1o/k1owbmzkzj>

Briefing to the Security Council on threats to international peace and security - Statement by Ms. Izumi Nakamitsu High Representative for Disarmament Affairs (8 February 2023)

（AALA ニュース編集部仮訳）

武器輸出が増え、重装備化している

2022 年 2 月 24 日にロシア連邦がウクライナで軍事攻撃を行い、ウクライナの人々に計り知れない苦痛を与え、世界中に波及効果をもたらしてから、ほぼ 1 年が経過しました。

これまでも、多くの政府が、防衛上の必要性からウクライナに軍事支援を提供していると発表しています。

歩兵戦闘車、防空能力、大口径砲システム、無人戦闘機、ミサイルシステム、小型武器、軽火器など、通常の重火器や軍需品が転送されています。これに加え、ごく最近、より重く近代的な兵器の転送が発表されています。

武力紛争のあらゆる状況への大規模な武器の流入は、紛争のエスカレーションと転用のリスクに関する懸念を増幅させます。

軍備の透明性は、加盟国間の緊張とあいまいさを軽減するのに役立つ重要な信頼構築手段です。

国際規範に従って、武器と弾薬の譲渡には、譲渡前のリスク評価と、現場検査やエンドユーザーの検証などの出荷後の管理が含まれる必要があります。

民間人への影響が深刻化している

現在の軍事攻撃が始まって以来、人権高等弁務官事務所は 18,657 人の民間人の死傷者を記録しています。この合計には、7,110 人の死亡者と 11,547 人の負傷者が含まれています。実際の数値はおそらくかなり高いです。

民間人の死傷者のほとんどは、重火器、複数のロケット発射システム、ミサイルなど、広範囲に影響を与える爆発兵器によって引き起こされています。

重要な民間インフラへの攻撃が、民間人に直接的な人道的影響をもたらしています。

家、学校、道路、橋が破壊されただけでなく、病院や医療施設も攻撃されています。水、ガス、暖房、電気の混乱は、ウクライナの人道的危機をさらに悲惨な次元に到達させています。

事務総長は、紛争当事者に対し、無差別に危害が及ぶ可能性が高いため、人口密集地域での爆発兵器の使用を控えるよう明確に促しました。

侵攻から 1 周年 さらに訴える

ウクライナ侵攻から 1 周年を迎えるにあたり、私は国連の平和への呼びかけを新たにしたいと思います。過去 12 か月間、計り知れない損失と荒廃が見られました。

残念なことに、現在の軍事的論理が優勢であり続ける限り、紛争の交渉による解決の見通しは現時点では薄いように思われます。

紛争のさらなるエスカレーションと長期化は、耐え難い苦痛をもたらすだけです。ウクライナを支援するための軍事装備の移転は、平和への願望を狂わせてはなりません。

私は、国連憲章の原則に従い、ウクライナの主権と領土保全を尊重しつつ、紛争の平和的解決を支持するという総会の呼びかけを繰り返します。

ありがとうございます。